

カミノトピックス



イベントには欠かせません。

今回伺ったのは、私が個人的にも20年以上親しくお付き合いさせていただいている緑香商事様です。会社の名前からわかるのとおり、もともとはお茶の小売から始まり昭和43年に包装資材の会社と合併し現在に至っています。職種としては恵庭、千歳エリアの飲食店、仕出し屋、各個人商店にお茶と包装資材を中心に小売配送をしています。東千歳駐屯地の売店にも食料品店を出しており、自衛隊の方々には馴染みの深いお店だそうです。今回は新富のお店の方で下川専務取締役にお話を伺いました。

Q：緑香商事さんのモットーはなんですか。

A：営業が3人だけの小さな会社で今風のパソコンを利用した受発注システムはないので「地域密着」大手があまり好まない「少量配達」、「塵も積もれば山となる」という昔ながらの泥臭い商売を心掛けています。でもこれがお客様に親近感を持ってもらい、今までもこれからも商売繁盛につながっていくのではと考えています。

Q：見出しの「イベントに欠かせない」とはどういうことですか。

A：おかげさまでこの商売を千歳で40年以上続けているので、夏祭り期間中（7月～9月）は町内会の方々のイベント用品（皿、箸、紙コップ、炭、かき氷等）の買出し、配達依頼の注文で大忙しになります。土、日もお客様の要望があれば店を開けて来店も受けてますよ。これが地元の地域密着のいいところでしょうか。

お店にいけば、時間さえあれば優しい専務と、ミニバレーボール命の徳田さん、40歳になった野球少年下川さん（専務のご子息）が親切に対応してくれますので、イベント用品にお困りの時は、ちょっと立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

談：E.S・田中



←写真左から、下川専務、徳田さん、下川さん。

店内はお茶はもとより、包装資材やイベント用品がいろいろ →



50年の歴史とともに

昨年、市制50周年を迎えた千歳市。そんな歴史ある風土の中で今年創部50周年を迎える中学校の部活動があります。今回は、千歳市立千歳中学校吹奏楽部を紹介させていただきます。顧問の飯田浩貴先生にお話を伺ってきました。

Q：創部50周年おめでとうございます。石狩管内でも最も歴史のある吹奏楽部の一つと伺いましたが。

A：はい。長い歴史の中で、地域の方々、本校生徒や教職員の応援、そして父母会のバックアップ体制により、吹奏楽コンクールでの輝かしい成績をはじめ、精力的な活動の足跡を残して参りました。また、全国各地のオーケストラなどで活躍するプロ奏者を多数輩出していて、現在の部員たちもこうした伝統の下で、技術的にも精神的にも自己を高めようと努力しています。

Q：少子化や受験勉強などで、どの学校も部活動の維持が大変だと伺ったことがあるのですが、その辺りのご苦労はいかがでしょうか？

A：幸い本校の吹奏楽部は、現在約60名で、全校で最も大所帯の部活です。ただ、楽器の老朽化という深刻な問題を抱えています。木管・金管楽器、弦楽器打楽器のいずれも傷みがひどく耐用年数の限界に来ているものが大半です。

Q：「弘法、筆を選ばず」は楽器には当てはまらないと言われていています。そんな中での演奏会やコンクールは大変ですね。

A：はい。ですが、これは音楽の不思議なところで、いくら上手なプロの演奏者でもそこに「心」が感じられなければ何の感動も得られません。一方、中学生の演奏でも、ひたむきな姿勢や表現に「心」が見えた時、聴く人に大きな感動が伝わるのです。

Q：50周年記念の演奏会があると伺いました。

A：はい。7月19日（日）に千歳市民文化センターで、第27回定期演奏会を行います。本校OBで札幌交響楽団の玉木亮一氏や元本校顧問の長田栄二教諭（現札幌清田中学校教諭）らをゲストにお迎えし、50周年を飾るのにふさわしい演奏会にしたいと思っています。もちろん生徒たちも本番に向け毎日頑張っています。

当日は入場無料で、13時開場・14時開演となっており、父母会による支援活動としてお茶やコーヒー、お菓子の販売もあるそうです。私も、先生と子どもたちの頑張りを感じに是非行きたいと思います。 談：E.S・国府田



休み返上で練習に励んでいます。当日は、OB数名も出演予定です。

熨斗(のし)とお中元

7月、そろそろお中元の季節になってきました。

遠くの家族やお世話になった方々へお中元を贈られる方も多いのではないのでしょうか。

そこで、受注のお電話でも時々お問い合わせ頂く『熨斗(のし)』について、日頃???と思う事も多いのでちょっと調べてみました。

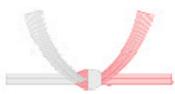
ここではお祝い、慶事用についてお話しします。「熨斗紙(のしがみ)」というと、紅白の紐と右上に扇子のような絵の付いている「紙」と捉えていたのですが、「熨斗」と言うのは右上にある六角形の「熨斗あわび」の絵の事で、「水引」は紅白の紐のことを言います。熨斗と水引があって初めて『熨斗紙(のしがみ)』となります。熨斗の無いものは『掛け紙』と言われます。熨斗あわびは、元々は本物のあわびを薄く削ぎ、熨して乾燥させ紙に挟んで水引で結び、古くからめでたい時の贈答品に付けていました。縁起物とされ長生き長持ちの印といったところでしょうか。熨斗はあわびの事なので、魚介類の贈り物をするときには掛け紙は掛けても熨斗紙はかけません。(2重の意味になってしまうとか・・・)。また「のばす」の語呂は、先様の発展を祈る意味にもなり、そのため、不祝儀や病氣見舞い、災害見舞いには熨斗をつけません。

水引ですが、何度起きても嬉しい祝い事には「蝶結び」の水引を、結婚のお祝い場合はたった1回しっかりと結んで解けぬように「結びぎり」の水引を使います。水引の本数は最大級の10本です。

古くから続いている熨斗の習慣にも色々と決まり事があるようですが、こういったささやかながらも相手の事を思う気持ちを表現する日本人の風習はこれからも大切にしたいところです。

さて、ある統計ではお中元先ベスト5の第1位は『両親』だそうです。今年は遠くでも近くでも日頃の感謝を込めてご両親の喜ぶ顔を思い浮かべながら、お中元を贈ってみてはいかがでしょうか。

談：JR・二階堂



・結び切り

結び目が固くほどけないため、繰り返したくない慶事や弔事に使用します。
○結婚や、弔事、災害、病氣など繰り返したくない事に。



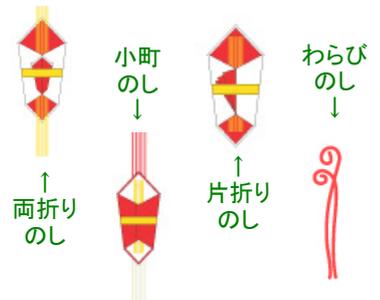
・蝶結び

結び目が簡単に解け何度でも結び直せるため、繰り返したい慶事に使用します。
○結婚以外の一般祝辞・お礼・記念行事・挨拶など。



・あわび結び

複雑な結び目は解こうとすると解けるがなかなか解けないという意味があります。飾り結びとして結婚等の慶事によく使われます。
○弔事(色違い)で使えます。



●新商品のご紹介●

キングジム・

エアゾール式 簡易消化具・「消棒(syobo)miny」

電気の使いすぎや、ショートなど、

実は身近なところで発火することも・・・。

「消棒 miny」は

- ・重さわずか 450g。コンパクトなスプレータイプなので、片手ワンプッシュで簡単な操作ができます。
- ・気体で消すので、薬剤や水を一切使用していませんので、感電の危険がありません。
- ・使用している気体は、工場から排出されるCO2を再利用しています。

周囲を汚さず、クリーンに消化できます。

パソコンや電源近くに備えてみてはいかがでしょうか。



BSM-001
定価：¥7,140(税込)

●7月のキャンペーン

I. 「テラフアロテーフ」

SS12K・5個 + SS18K・5個の合計10個お買い上げで、フラットファイル・A4S(色：CB色)10冊をサービス

II. クリーナーキャンペーン

以前ご好評いただいた、液晶クリーナー(ウェットタイプ)・オフィスクリーナー(ウェットタイプ)を詰め替えもつけて特価でご奉仕!

III. シャープで空気をキレイに!

加湿空気清浄機 KC-W45-W)・イオン発生機(IG-A100-W)限定数の超特価販売

詳細は別紙。

限定数のためお早めに・・・



2009年 6月30日 VOL. 48

発行元：(株)カミノ

TEL：0123-23-4255 / FAX：0123-24-1381

e-mail：kamino@rose.ocn.ne.jp

7月となると北海道も夏本番!

今年もクールビズを実施しておりますが、地球環境を守るためにご理解くださいませ。短い夏を楽しみましょう・・・

